

下紺屋町分館報

発行所／下紺屋町分館
責任者／池田竹男

上田市中央西1-14-38 電話 25-0995

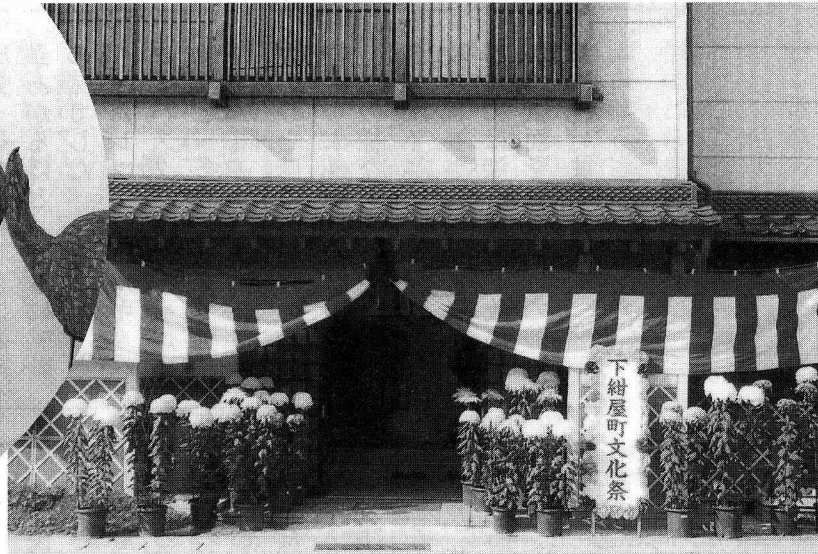
ふれあい

幸せな明るい人生 //

町民は共に生きよう

ふれあい健康人生 //

笑顔であいさつやさしい町



この1年を振り返って

自治会長 腰原一文

この分館報が、皆様のお手元に届く頃は、〇九年度は早くも終わろうとしている事と思います。

この一年、他の自治会と比べても、行事が多いといわれている下紺屋町は、一

月の新年会、どんど焼きから始まって、十一月の文化祭、公会堂大掃除に至るまで、様々な行事、催し物が催されましたが、理事さん始め、分館役員さんや皆様方のお力添えが無ければ、決して達成でき

なかった事だと思えます。心より感謝申し上げます。

色々な行事の中でも、中核となるべく理事や分館役員の皆様の苦労や活躍がなければ、成功する事がなかったでしょう。

特に、祇園祭に際しまして、皆様のご協力によりまして、盛況に終わった、事に非情に感慨深い物が込み上げてきてたまりませんでした。

祇園祭で百万円以上の寄付金が集まった事は、上田市でもトップクラスの中に入り、一軒当たりの寄付金額では、断トツの一位だと、自負し

ております。これも伝統を重んじる皆様方の、意思の表れだと思えます。

しかしながら、なすべき課題も山積みだと感じています。

第一に、裾野はまだまだ狭いという事です。町内の団結力はすごい物がありますが、まだ限られた人達です。見慣れた顔が多いという事です。『新顔』が多くなる工夫が必要だと思われる事です。

第二は、理事になる間隔が、ある地区は三〇年に一度、ある地区は六年に一度という風に各地区によってバラつきがある事です。

第三に、班編成についても再考が必要であるという事です。皆様方に行って戴いている公会堂の掃除の事に関連して、三年位前には一年に一回位で済みましたが、現在では多い時は、年に二回という風になっていきます。

これは町内住民の高齢化に伴い、一班ではできず、二班合同で行うという風に、変化してきた結果です。

この様に、各地区、各班共、長年の役割を終え、改めて、一部再編成の必要性を痛感しています。

これは並大抵の事ではありません。時間をかけ、皆様の英知や意見を集約し、進めていく必要があると思います。



分館の一年

分館長 池田竹男

西部公民館の中で、下紺屋町分館は、高齢者率が高い方から二番目、町民の約三割という現状から、今年の人権講演会のテーマを、五月は、介護保険制度

九月は、高齢者の「老いを生きる」を、講師を招き、講演会を行いました。

家族や身近に介護を必要とする人が、いる場合と、そうでない人では、関心の深さが違いますが、多数の参加者があり無関心では、いられないとの感想がありました。

分館行事の日程は、一月の繭玉作り、どんど焼きから始まり、十一月の文化祭まで多くの皆様の御協力により無事に終ることが出来ましたことを感謝します。

さて上田城の鬼門の方角に建てられていますところの、八幡神社は我が町の誇りであり、又境内に於て行なわれる一月のどんど焼き七月の祇園祭御輿の宮入り花車入場、八月盆踊り等々、そのほか町民憩いの

下紺屋町は素晴らしい町です。他の町から垂涎の的となっています。

下紺屋町に生まれ、育った事に誇りと自信を持って下さい。



スポーツ大会の主な成績は、ビーチボール大会においては準優勝、連勝していた運動会は惜しく一点差にて準優勝でありました。来年も十分優勝を狙える力がありますので健闘を期待します。

文化部・女性学級

ケチャップ作り体験

八幡3の3 塩入 厚子

残暑が厳しい八月二十二日、文化部と女性学級共催の、「ケチャップ作り」に参加しました。

参加者九名は三台の車に分乗して、東御市鞍掛にあるJA東御支所へ。

支所の加工所には、すでに沢山のトマト、リンゴ、玉ネギ等が用意されており到着後は早速、長靴、ビニールエプロン、三角巾を着用して御挨拶。

全員はJAサポーター田中さん指導の下、トマトやリンゴを洗い、玉ネギの皮を剥き、ニンニクや生姜を刻む、等の作業に分担して取り組みました。

洗った加工用トマトはカッターで潰し、ジュースで何度も搾って種と皮を除きます。この時に、ピュッ

と汁が飛び散り、思わず声が！ビニールエプロンの有難みを感じた一瞬です。

主な材料に七種類の香辛料を加え、回転釜で二時間煮込んだ出来上りを全員で味見。その美味しさに歓声が上がるほど。まさに感動の味でした。

オムレツ、ロールキャベツ、パスタ、煮込みや炒め物など、多彩に使えて美味しさが際立つこのケチャップのひと味は、料理の腕前アップにも欠かせません。

この様な素晴らしい企画を立てて下さった、分館及び文化部長さん、女性学級長さんには深く感謝。改めてこの紙面をお借りして御礼申し上げます。

「有難うございました」

「資源回収」

環境部長 南雲 欽二

今年も、残りわずか落葉の季節となりました。

毎月の資源回収等におきましては、理事の皆様を初め、自治会の皆様の御協力により、スムーズに作業ができた事を御礼申し上げます。

私も環境部長を二年間、努めさせて頂きました。資源回収、八幡整備等の作業では、人とのふれ合いの中で学ぶ事も多く、役の大変

「介護保険と高齢者

サービスの現状、将来を考える」

育生推進指導員 丸尾 信夫

五月二十九日、人権問題

懇談会を開催し、介護保険を中心とした講話を受けた。

全国の高齢化率（六十五歳以上の占める割合）が二十・七％であるのに対し、上田市は二十四・五％と高い、今後も更にこの状況は進むとみられる。

誰しも六十五歳の誕生日を迎えると、上田市から介護保険の被保険者証が届く。自らその受給する権利が発生したら、申請すべきである。人の世話になるのは気が引けるが、保険料を払う義務を果たした結果なのだから、権利行使は当然だ。

できることなら、元気な内から、介護保険について勉強し、いざという時のために備えたい。若い世代も身近な問題として捉え、将来の超高齢化社会に対する心の準備を進めていく必要がある、他人事ではない。

誰も好むと好まざるとにかかわらず「老い」はやって来るのだ。

下紺屋町の高齢化率も西部公民館管内で二番目に高いという。

しかし、住民が相互扶助の精神に基づいてお互いを支え合い、認め合って暮らせていけたら、決して老後は暗いものではないはずだ。

研修会の最後に幾つかのグループに分かれて個人の尊厳について討議が行われた。将来に対する不安を抱きながらも生きていかなければならない。

相互扶助の精神をこの下紺屋町の精神として育て、強い絆で支え合う、そんな町づくりを進めたい。

「ありがとう」

三中PTA下紺支部長 青木 明日香

下紺三中生として最大の行事といっても過言ではない夏休み初日の「奉仕活動」

週間予報は雨でも当日は晴れてくれるだろうと信じていたのですが、予報どおりの雨、予備日としていた八月二日までもが雨という残念な結果となってしまいました。

町別生徒会で班分けをし、四ルートに分れてゴミを拾い、班長はエコキャップのポスターを張り替える、ゴールは八幡、作業が終わっ

たらみんなにジュースを配る予定で張り切っていました。そんな準備や気持ちには報われず、中止の連絡網をまわす決断をしなければなりませんでした。ところが、「小雨」と判断し、公会堂へ向かってくれた思いやりとやる気のある子がい

たことを知り、「無理してでもやれば良かった」と、後悔と申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。その後も中学生の優しさに触れることが幾度とありました。

エコキャップ回収時の立会い・祇園祭・西部運動会……「いまだきの中学生」を見たり聞いたり、又テレビで観たりしています。

が、下紺の中学生は自慢出来る子達だと、いうことに喜びを感じ、「支部長」になる事が無ければ触れることが出来なかつたであろう、中学生の優しさに触れることが出来て本当に良かったと思っています。

昨年、柳町支部長の多大なるご努力により始まったエコキャップ運動を、今年も引き継がせて頂いております。本年度四月より十一月までの間でスーパの袋にして十五袋も集っており、中学生の手で学校へ届けております。これも自治会の皆様のご協力が無ければ出来ないことだと痛感し、感謝しております。どうか今後ともご協力の程宜しくお願い致します。

ファミリースポーツ大会

西小六年 児玉 大宙

五月六日にファミリースポーツ大会がありました。

ぼくは、家族でチームを作って参加しました。去年新町に負けてしまい、くやしい思いをしたので、今年は二試合勝ちたいと思いました。

一試合目の時は、少しきん張してアタックが失敗しましたが、だんだん慣れてきてアタックもきまり勝つことができました。

二試合目は新町とでした。お父さんは、たくさんぼくにトスを上げてアタックもきまりました。お母さんもたくさんボールを取ってくれたし、妹のアタックもきまったので、この試合も勝つことができました。二試合勝つことができて本当にうれしかったです。



支部長になって初めて知る下紺!!

西小PTA支部長 佐藤 和枝

小学校PTA支部長の佐藤和枝です。

今年の四月、下紺の組織的な事も何と知らず分館って何?自治会って何?という状態から入ってしまっただけで、やはりどう動いて良いのかさっぱり分かりませんでした。分館自治会の皆様のご指導とご協力のおかげでイベントが次から次へと進み、終わっていきます。

スポーツ大会、子供達の真剣な顔が脳裏に浮かびます。今年は城北が打倒下紺という事でしたが、下紺側は皆、運動神経が良く、圧倒するばかりでした。応援も他の地区を抜いて断トツ一位ではなかったでしょう。情熱的でした。

夏の祇園祭。準備に参加

スマイルボーリング大会

西小五年 渡辺 奨

ぼくは、スマイルボーリング大会でひろみち君といっしょのメンバーでした。そのチームでよかった事は、ぼくがはずしても「ドンマイ」と、言ってくれる事です。第一試合は、城北とやりました。ピンをたくさんたおして勝ちました。第二試合の生塚は、けっこう強かったけど、力を合わせて勝って良かったです。第三試合は、新屋です。この試合に勝てば優勝です。下紺



秋の文化祭。出品された物はどれも素敵でした。ステージ発表もすばらしかったです。下紺の方は芸術的でもあるんですね。春、夏、秋と子供達そしてPTAのためにお力添えをしていただきまして本当にありがとうございます。これからはよろしくお願いします。致します。

町内スポーツ大会

体育部長 児玉 嗣夫

九月六日に西小学校体育館で、町民スポーツ大会を行いました。今年は昨年同様スマイルボーリングにて楽しみました。今年は、体験コーナーとしてシャフルボードも、試合の合間時間を利用して体験をして頂きました。

スマイルボーリングは、西部地域において少年少女スポーツ大会として、又シ

ルバススポーツ大会として、子供から大人まで気軽に楽しみ、交流の出来るスポーツとして定着してきています。今年はストライク賞も用意して参加者のみなさんに、ストライクを狙って頑

ビーチボール同好会

萩原 典江

私達ビーチボール同好会は、現在20名程の部員で活動しています。

月に一回程の割合で、上

田市の大会や県の大会が開催されていて、積極的に参加しています。やはり、普段の練習とは違って、沢山のチームが集まるので、強いチームも多く、とても刺激を受けます。そこで、練習の成果を発揮しています。負けてしまった時は、今度はこうしてみよう、こうすれば良かったなどと意見を

出し合い、次の試合に向けて、また練習に戻ります。いつもは、わいわい、にぎ

張って頂きました。結果ストライク賞は2本出ました。

子供さんで小6児玉大宙君、小3杉田颯君です。体を動かす事はとても良い事だと考えます。今上田市は、「ひと・まち・げんき・健康うえだ21」運動を、展開しています。まずは自分たちの身近な地域でのイベントに参加しては如何でしょうか。今年参加して頂きました皆さま、今年参加出来なかつた皆さまも、来年は大勢参加して、楽しい時間を過ごしましょう。分館には各種同好会もありますので気軽にスポーツを楽しみましょう。

やかに、笑顔が耐えない楽しい時間を過ごしています。この様な活動をしながら、時には親睦を深めたりと、違ったかたちで、ストレスを分散もしています。

ビーチボールは、年齢に男女に関係なく出来るスポーツです。そして、一度やったら、またやりたくなるスポーツでもあると思います。

また、ファミリービーチボール大会や、西部公民館ビーチボール大会と、試合もあります。是非、私たちと一緒に、体を動かしてみませんか? 一度、体育館へ気楽に御出掛け下さい。お待ちしております。



「町内卓球大会」

子ども会育成会長 田口 賢司

毎年四月に行われる「西部公民館主催卓球大会」において、一戦でも多くの勝利を目指し、出場する皆様と三月から計三回の練習を重ねてきました。

練習中の子どもの様子を見ていて感じたことは、とても楽しそうで、また上達が早いこと。若さを感じました。練習が終了しても「もっと練習したい」と、意欲のある子ども達がたくさんおり、練習時間を延長したことさえありました。そんな中で、主事と青少年育成推進指導員の取り計らいもあり、町内だけで、もう一度卓球大会やろうという話になり、初の「町内卓球大会」を、夏休みに入った直後の七月二十九日の夜に、西部公民館で行

ました。

当日の参加者は、子ども十五名、父母他大人十九名の計三十四名と多くの皆様に参加を頂き、種別も低学年の部、高学年の部、一般男子の部、一般女子の部に分け、トーナメントにて行いました。子ども達の勝負にかける真剣な表情は、今でも忘れられません。卓球大会自体は短時間でしたが、みんな良い汗をかき、楽しい卓球に満足した様子でした。

大会終了後は、公会堂に移り、各種別の優勝者に豪華商品?を贈呈し、腹ペコの子ども達と、一緒に美味しいお弁当を頂き、卓球に引き続き、更に親睦を深めることが出来ました。

これからも、子ども達の育成のために、何が必要かを考え活動をしてまいりたいと思います。

最後に、たくさんの方に参加してくれた下紺の多くの子ども達と、交流を持てたことを、育成会長として幸せに感じています。

育成会関連行事にご協力をいただいた皆様、本当にありがとうございました。



第三〇回 西部運動会

今年の西部地区大運動会は、30回記念大会となりました。

下紺屋町は、昨年、一昨年と優勝しており、今年も三連覇のかかった大会でした。当日は、天気も良く午前中で下紺は、トップに立っていました。よし、今年も優勝だつ!! お昼には、愛情のこもったとん汁を戴き、午後太鼓をたたいての応援が響き渡りました。

下紺一丸となつての戦いも結果は一点差の二位でした。この悔しさは、来年の力としてまた優勝をめざしてがんばりたいと思います。

今年の大会では、中学生の参加枠を設け、より活性化した大会を目指しました。下紺でも、二人の参加を頂



分館主事 西沢 宏幸

きました。次回大会にも、一層中学生の参加をお願いします。また、次回大会では応援合戦も、得点に入れようという動きもあります。皆様の大きな声援、ご協力、またご参加を頂き、来年の大会も優勝目指してがんばりたいと思います。ありがとうございました。

西部リーグ三位入賞!

ソフトボール同好会

監督 荒井 克彦

五月に開幕した西部地区ソフトボールリーグにおいて、我が下紺チームは、今年度七勝三敗の三位に入りました。

過去には、準優勝に輝いたこともある下紺ですが、現在のメンバーは、本格的な野球経験者がほとんど居ないなか、三十代から六十代までの約三十名は、こよなくソフトボールを楽しみ愛するメンバーが中心です。春三月の早朝に練習を開始し、五月からのリーグ戦、秋のトーナメント戦へと臨むわけですが、若さあふれる三十代のメンバーから、選手兼指導、サポーター役の五十代、六十代のメンバーまで、みんなが一緒になって頑張っております。

なお、ソフトボールを通じて、健康の維持増進を図る

ことが第一の目的ではありませんが、試合後の反省会や新年会、定例会、納会等では、年代を越えての親睦の輪が図られ、他のチームから羨ましく思われるほど和気あいあいとしたチームです。

今年も三十代の数名が入会されましたが、随時新入会員を募集しておりますので、体を動かしたいと思っ

ている方は、是非まわりの同好会員にお声かけいただき、一緒にソフトボールを楽しみましょう。

最後に、来年はさらに良い成績を報告できますよう、メンバー全員で頑張りたいと思います。

はまなすの会

会長 渡辺 敬子

太郎山も色とりどりに美しくなり、秋もたけなわとなりました。文化祭も無事盛大に終り、今は「ホット」しておりますが、婦人学級がなくなり町内の方達とのコミュニケーションがとれなくて淋しいね、町に活気が欲しいねと、互に話しあっているうちに、こんな事を思いついて「フラダンス」を踊ってみようと思われ

の自治会長さんも賛同し大変喜んで下さり、文化祭に出させていただきました。お父さん方にも入って頂き披露させてもらいました。その後細々と続けて来ておりますが、ともかく歌って踊ることは心身共に大変よいことなので、皆様方も参加してみませんか、月二回の練習日、分館活動で行っています。一度見学にいらっしゃいませんか。全身運動と脳の働きで、リフレッシュ出来ます。ともかくリズムにのって体を動かすことが、楽しいですよ。一汗かいた後がすがすがしく感じます。お茶を飲みながら語り合うことも又楽しいです。



詳しくは、上野広子さん、丸尾照子さん、山寺信子さん、渡辺敬子にお尋ね下さい。多勢の皆様参加を、お待ちしております。

平成21年下紺屋町分館活動行事

- 1月10日 まゆ玉作り
- 11日 どんど焼
- 2月1日 道祖神(もちつき大会)
- 3月18日 大樹会(スマイルボーリング大会)
- 22日 卓球練習・交流試合
- 4月12日 西部公民館 卓球大会
- 30日 女性学級(善光寺御開帳と北信濃めぐり)
- 5月6日 西部公民館 ファミリービーチボール大会
- 29日 人権問題懇談会「介護保険制度とサービスについて」
- 6月6日 西部自治連少年少女スポーツ大会
- 14日 敬老会
- 西部公民館 軽スポーツ講習会
- 27日 PTAバザー
- 7月18日 祇園祭
- 25日 上田わっしょい
- 29日 育成会 卓球大会
- 8月2日 こども会 工作教室(おたのしみ会)
- 14~16日 盆踊り
- 22日 文化部 女性学級(ケチャップ作り)
- 30日 西部公民館 ビーチボール大会(準優勝)
- 9月6日 町内スポーツ大会(スマイルボーリング)
- 30日 人権問題懇談会 講師 土屋彰氏
- 10月18日 西部公民館 第30回運動会(準優勝)
- 11月1日 文化祭
- 21日 公会堂 大そうじ(自治会・分館合同)
- 12月 末 分館報発行
- 毎週第1火曜日 女性学級講座
- 毎週2回 大樹会 八幡神社境内掃除
- 下紺商工振興会 花いっぱい運動

下紺屋町商工振興会協力店をご利用下さい